

AMAC 認定『全国オートバイランドマーク』

1. AMAC 認定『全国オートバイランドマーク』とは
2. 設置する場所について
3. 開設に必要な条件
4. 宣伝の方法

1. AMAC 認定『全国オートバイランドマーク』

- オートバイ愛好者が増え、最近では女性や中高年ライダーが増加するなかで、一般道路沿いに安心して自由に立ち寄れ、利用できる快適な休憩のための「たまり」空間が求められています。
さらには個性的でおもしろい場所が望まれており、これら休憩施設では、多様で個性豊かなサービスを提供することもできると思われています。
「全国オートバイ・ランドマーク」はオートバイの道の駅として、ライダーがソロで、またグループでも立ち寄れるロードスポット。
「全国オートバイ・ランドマーク」と共に、展開しています「全国オートバイ神社」には鳥居や祠を鎮座。
オートバイでのツーリングルートを創出。
この二つのオートバイランドマークを推進して参ります。全国をオートバイで旅するツーリングライダーをサポートすることは、新しい形の門前町の形成です。
すでに営業中の神社は、週末になると全国から集まるツーリングライダーで賑わっています。
半径50km圏内は、新たな形の門前町として、多くのツーリングライダーが誘致可能です。
- 自分で「足の確保ができるライダー」だからこそ、交通インフラの心配がいらぬ。
30~40名の一度に訪れる観光バスの受け入れは大変。でも数名単位のパーティーで訪れるライダーに、その心配は不要です。
埼玉県小鹿野町が掲げた「ウェルカム・ライダーズ」は10年で10倍にオートバイ観光客が増大しました。
- AMACでは先ず各県に数箇所、目標は全国に200箇所のランドマーク設置を目指しております。
相互の連携を図り、その相乗効果を有効活用します。

一般社団法人日本二輪車文化協会（AMAC）

ツーリング推進委員会 ランドマーク認定部会部会長：加藤稔

昨今増えつつある海外からのライダーに、バイク（生産）王国日本の良い所を旅して頂き、観光立国を目指す我が国の一助になれると確信しています。

2. 設置する場所について

■ 自治体に登記する必要はありません。

■ 地域活性化に結び付くものですから地域の観光施設（飲食・宿泊・観光など）や地元の観光協会などと連携を図ることでより効果的な運営が可能です。

* 別紙の設備一覧調査表をご参照ください。

3. 開設に必要な条件（AMAC 認定条件）

■ 駐車場

出来れば舗装面が良いです。

多くの女性ライダーは砂利や土の駐車場を嫌がる傾向にあります。

（オートバイのスタンドが埋まりやすく転倒の危険がある為です。また車体を押して移動する際に腕力を必要とするからです。）

■ トイレ

ヘルメットを脱いだ女性ライダーが座って化粧直しができる設備やドライヤーコンセントなどがあると女性ライダーの集客に効果的です。

一般社団法人日本二輪車文化協会（AMAC）
ツーリング推進委員会 ランドマーク認定部会部会長：加藤稔

■ 飲食設備

そのような設備が出来ない場合でも近所にオートバイが駐車可能なレストランや喫茶店があれば、そちらと提携すると良いでしょう。

■ その他

*別紙「全国オートバイランドマーク」設置までのフローをご参照ください。

4. 宣伝の方法

■ 当団体 HP に掲載致します。

■ 地元紙や、各雑誌社で取り上げられる事がございます。

■ ランドマークを訪れたライダー達が SNS 等で拡散されます。

<お問合せ先>

一般社団法人 日本二輪車文化協会（AMAC）

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-5-2F

TEL 03-5969-8531

Email : info@amac.or.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-5-2F
TEL 03-5969-8531 info@amac.or.jp

[文書のタイトル]

一般社団法人日本二輪車文化協会（AMAC）
ツーリング推進委員会 ランドマーク認定部会部会長：加藤稔

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-5-2F
TEL 03-5969-8531 info@amac.or.jp